

横須賀市民生委員児童委員協議会 児童福祉部会施設見学報告

実施日 令和6年1月22日（月）10時より12時

場所 はぐくみかん（児童相談所など）・すくすくかん 参加者 児童部会部会員23名



すくすくかんは市役所分館の先、常葉中学校の隣で、はぐくみかんは、市役所駐車場の裏、諏訪小学校の隣です。中央こども園は横須賀市役所裏の奥まった所に入り口があります。はぐくみかんの入り口は、横須賀市の木であるオオシマザクラの花びらをモチーフしたぬくもりのあるドアです。私たちは2班に分かれ、はぐくみかんとすくすくかんにて、それぞれの概要資料をもらいました。



中央こども園



入ってすぐ、子供達がズボンや靴を泥んこにして、ストライダーを乗り回しているのにびっくりしました。玄関の登り口まで泥でした。この泥んこを毎日洗う保護者は、本当に偉いです。

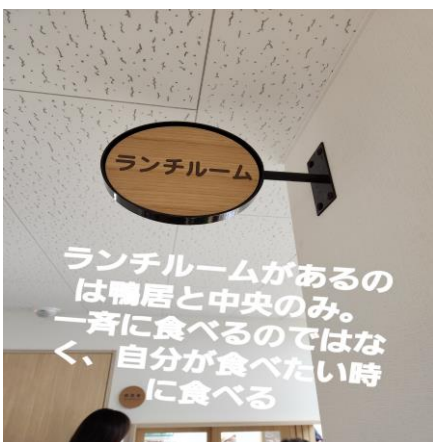
入り口にて園長さんよりパンフレットが配られ、園の方針についてのお話がありました。園児1人1人の考えを引き出し、自分で考え行動する基礎を育てているそうです。みんなで一斉にひとつの事をやるのではなく、バラバラにやりたい事をやりたい時にやっています。なので、保育教諭の目が行き届くように、保育教諭同士がツールを使って連絡しながら、保育をするそうです。



0・1歳児の1階、2～5歳児の2階、それぞれエントランスがあり、どちらにも園と保護者が必要な物の受け渡しをするBoxがありました。園児は外から直接入れるシャワーのある更衣室があり、そこで着替えてから部屋に入ります。



お昼寝中は、肌着の上にこのセンサーを付け、5分ごとに確認します。



あちこちのコーナーで、自由に遊び、保育教諭が家から色々な物を持ってくると、空き箱などの廃材も全て遊び道具になるそうです。囲まれたコーナーは上にもテントのような物が張られています。お昼寝は自由にコットを敷き寝るそうです。

ランチルームが解放されると、食べたい子が自由にルームに来ます。自分で席を決めて、用意されたトレーを慎重に運ぶ姿に、見学の委員さんはハラハラして手を出したくなるのをぐっと堪えていました。フォークを上手に使って食べています。ご飯をおにぎりにしてもらって、食べている子もいます。全部食べるように強制をしていません。時間内に早く食べてと、急かすことはありません。食べ残しは、名前の書かれたボールの中に自分で入れます。



すくすくかんでは、こども園の見学が終わり可愛い園児達にバイバイしてから、5階の愛らんどよこすかと、4階のファミリー・サポート・センターを案内して頂きました。その他、1階には病児・病後児保育センターがあります。

はぐくみかん
児童相談所

はぐくみかんは、子育て支援の総合相談窓口です。ざっくりと、1階には、児童手当などの給付窓口、発達の遅れや障害のあるお子さんが通える療育相談センターの通園施設（ひまわり園）があります。2階は療育相談センターの事務所があります。3階が児童相談所、4階は療育相談・診療の窓口です。5階は保育園・学童保育・愛らんど・ファミリーサポートなどの制度を使う為の窓口と、DVや非行の相談窓口があります。



プレイルームには
サンドバッグ！！？

療育相談センターを抜く全ての階を、説明を聞きながら見学させて頂きました。最後に児童相談所にて、児童相談所職員による説明を聞きました。相談室は何部屋もあり、使用中の部屋も多くありました。

机と椅子のみの事務所のような小さめの部屋・子供の遊び道具が溢れる部屋・軽い運動が出来る部屋、それぞれ、子供や保護者に応じて、話しがしやすいように、職員が神経を使っているのがよくわかります。

家族療法室は、親子での共同作業によって家族の統合を目指す部屋だそうですが、この日は使用中で、中は見学できませんでした。キッチンなどがあるそうです。

箱庭療法室は、砂を入れた箱の上に日常的・非日常的な模型を自由に置く事で、言葉では表現できない自分の内面世界を表現することを手伝えるために活用しています。



こちらの班では、児童相談所の最後の質問や意見で、壁などが冷たく無機質なイメージだという感想がありました。可愛いイラストや明るいデザインの壁があってもいいのでは？という意見でしたが、それはかえって、そっちに気持ちが行ってしまい、話したい事に集中できなくなる事があるそうです。昔の児童相談所に行った事がある委員は、「以前はもっと暗いイメージで、ここは明るいですよ」と言っていました。

又、職員が働く場所も個人情報の取り扱いに配慮され、内外が仕切られた作りになっていました。今回、十数名ずつで見学させて頂きましたが、お忙しい中、こういった場所の見学は大変勉強になり、感謝しかありません。ありがとうございました。